

作業検査カメラ

RICOH SC-20

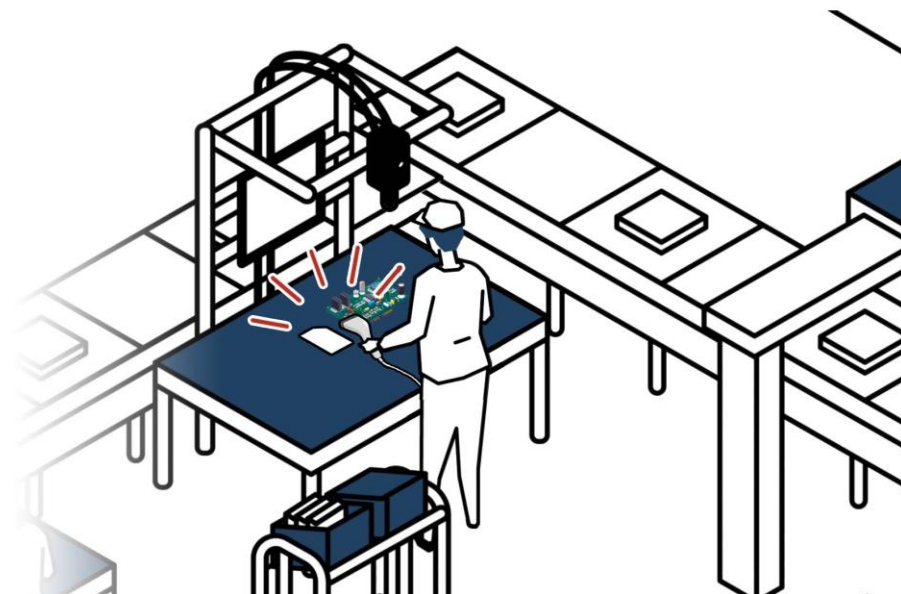
- ・バーコードリーダー
- ・データ入力モード

## 活用例

**RICOH**  
imagine. change.

リコーPFUコンピューティング株式会社  
エッジ戦略統括部

2025/04/01



# バーコードリーダーの活用

SC-20では、作業者が入力が必要とする [作業者ID] [作業番号] や [部品番号]、また選択操作が必要な [作業ID]などを、  
バーコードリーダーを使うことでキーボード入力操作を代替することが可能です。

バーコードリーダーはUSBインターフェイスに対応したタイプのもをサポート ([p7参照](#)) しており、SC-20に接続することで様々なデータ入力に利用することができます。



# 設定手順（作業IDの作成）

1 メニューバー「作業設定」から「作業ID設定」を選択します。



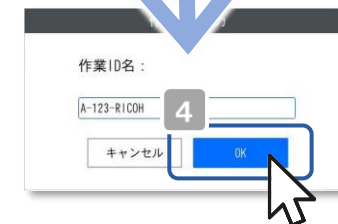
2 「作業IDリスト」の「追加」ボタンから、新規作業IDを作成します。



3 「作業ID名を入力」ダイアログに、作業IDとして入力する名称をバーコードリーダーで入力します。

例) **A-123-RICOH**  (code39 バーコード)

4 「OK」ボタンを押し、作業IDを登録します。



5 作業ID「A-123-RICOH」を使用し、以降の作業フローを設定します。

# 設定手順（データ入力モードの場合①）

**1** 「作業ID設定」画面右の「作業アイテムリスト」で、対象の作業アイテムが選択されている状態で「モード」のプルダウンから「データ入力」を選択します。

**2** バーコードリーダーで「部品番号」欄に部品番号の入力をします。

例) S/N **A-01ABC**



**3** バーコードリーダーで「比較」「文字列」欄に同じ番号の入力をします。

例) S/N **A-01ABC**



**4** 「反映」ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。  
これで部品番号「**A-01ABC**」が登録完了です。



作業アイテムリスト

追加  
コピー  
削除

Item 1

追加  
コピー  
削除

1 モード データ入力

2 部品番号 A-01ABC

3 文字列 A-01ABC

4 反映

閉じる

時間 比較

無効 開始位置 0

標準時間 (sec) 30 文字数 0

上限時間 (sec) 60

画像を保存する

OK  NG

外部出力

OUT0  OUT1  OUT2

OUT3  OUT4  OUT5

入力方式

手動入力  コード入力

設定

# 設定手順（データ入力モードの場合②）

データ入力モードでは、「部品番号」（バーコード）の中で、開始位置 / 文字数 / 文字列 を指定することができます。

例：「20201001A-01ABC」の8桁の数字を飛ばし“A”以降の7文字の「A-01ABC」のみを登録する

1

バーコードリーダーで「部品番号」欄に部品番号の入力をします。

20201001A-01ABC



2

「比較」の「開始位置」「文字数」「文字列」をキーボード入力します。

- 開始位置 : 8 (8桁を削除し、9桁目からスタート)
- 文字数 : 7 (7文字を登録)
- 文字列 : A-01ABC

3

「反映」ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

これで9桁目の“A”以降の7桁の文字列「A-01ABC」が登録されます。

作業アイテムリスト

追加  
コピー  
削除

Item 1

追加  
コピー  
削除

モード データ入力

1 部品番号 20230101A-01ABC

時間

標準時間 (sec) 2 30

上限時間 (sec) 60

画像を保存する  
 OK  NG

外部出力  
 OUT0  OUT1  OUT2  
 OUT3  OUT4  OUT5

入力方式  
 手動入力  コード入力  OCR 設定

比較  
開始位置 8  
文字数 7  
文字列 A-01ABC

3 反映

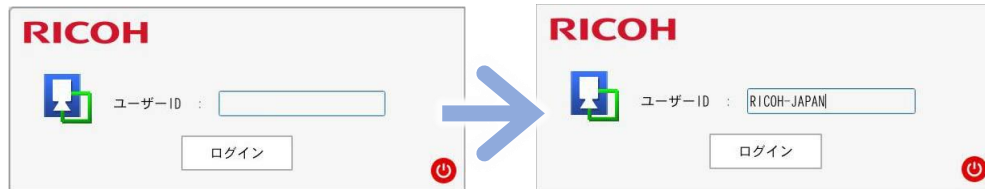
閉じる

# 使用方法（ログイン → 作業開始）

作業者は、以下の要領でログイン→作業開始までの入力をバーコードリーダーで行えます。

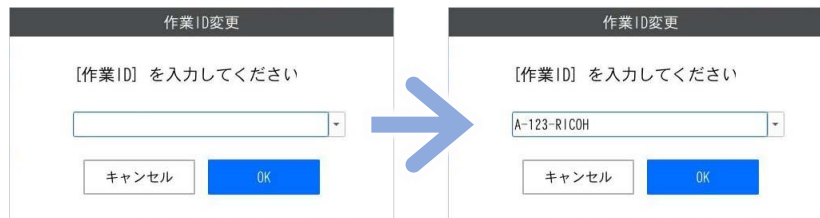
1

ログイン画面で、  
作業者のユーザーIDのバーコードをスキャンし、  
ログインします。



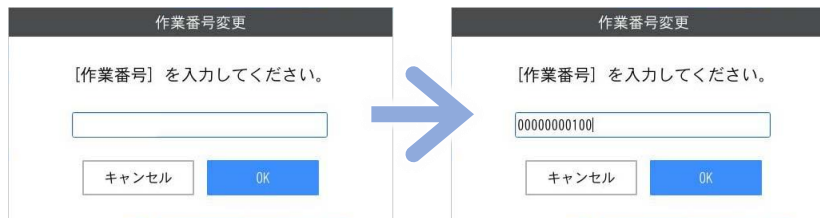
2

「作業ID変更」ダイアログで、  
作業IDのバーコードをスキャンします。



3

「作業番号変更」ダイアログで、  
作業番号のバーコードをスキャンします。  
以降は自動でフローが開始します。



※ データ入力モードで部品番号を入力する際も使用方法は同様です。

## ■ 言語対応・・・英数字および記号入力に対応

- ✓ 日本語入力は非対応です。
- ✓ 「文字列」欄には下記の文字は使用できません。  
「:」、「/」、「¥」、「|」、「\*」、「?」、「”」、「<」、「>」

## ■ 外部IF

- **USB Type-A**×1 : USB3.0 Super Speed対応 (Host)
- **USB Type-C**×1 : USB3.0 Super Speed対応 (Host)
- ※ 対応クラス : USB-HID、USB-Mass Storage、USB-Audio
- ※ Bluetooth接続のバーコードリーダーは使用できません。

## ■ 使用説明書

- ✓ 『RICOH SC-20 使用説明書 Rev2.0.0』 [P41](#)、[P55](#)を参照ください。

SC-20では、オプション（有償）を追加することで、バーコードリーダーが不要となる「1D/2Dコード機能」、「OCR機能」をご利用いただけます。

1D/2Dコード機能により、SC-20のカメラでバーコードやQRコード（1Dコードおよび2Dコード）を読み取り、入力することができます。

#### ID/2Dコード機能で入力可能な項目

- ログイン時の [ユーザーID] 入力
- 作業フロー中の作業アイテム（データ入力モード）でのデータ入力
- 作業フロー実行時の [作業ID] [作業番号] 入力

さらにデータ入力モードではOCR機能により、文字情報を文字認識で読み取りでき、製品型名やシリアルナンバーを簡単に作業ログ上に残すことが可能となります。



※ 本機能を有効にするにはライセンスファイルを手入手し、アクティベーションが必要です。ライセンスファイル入手とアクティベーションに関しては担当営業にご確認ください。

※ 本機能の使用方法につきましては、[RICOH SC-20 使用説明書](#)「16.オプション機能を有効にする」を参照ください。